

**平成29年度進捗評価シート**  
**白河市歴史的風致維持向上計画（平成23年2月23日認定）**  
（最終変更平成30年3月29日）

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 歴史まちづくりの庁内連携・推進	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画の活用	.....	2
2 景観計画の活用	.....	3
3 屋外広告物について	.....	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業(小峰城跡災害復旧事業)	.....	5
2 歴史的まちなみ修景事業	.....	6
3 歴史的風致形成建造物保存修景事業	.....	7
4 無電柱化調査事業	.....	8
5 旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業	.....	9
6 屋外広告物景観影響調査等事業	.....	10
7 小南湖公園整備事業	.....	11
8 都市計画道路乙姫桜プロムナード整備事業	.....	12
9 無形民俗文化財活動記録作成事業	.....	13
10 しらかわ無形民俗文化財等支援事業	.....	14
11 伝統的技術伝承事業	.....	15
12 白河歴史教科書作成事業	.....	16
13 ぐるり白河文化遺産めぐり事業	.....	17
14 白河の歴史・文化再発見事業	.....	18
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の修理(整備を含む)	.....	19
2 文化財の保存・活用を行うための施設	.....	20
3 文化財の防災	.....	21
4 文化財の保存及び活用の普及・啓発	.....	22
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 小峰城などで交流 ほか3件	.....	23
2 白河で5日まで「蒲生羅漢」展 ほか2件	.....	24
3 白河の文化財活用注目 ほか1件	.....	25
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 全国城跡等石垣整備調査研究会の開催	.....	26

<b>□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)</b>	.....	<b>27</b>
--------------------------------	-------	-----------

評価軸①-1  
組織体制

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	

歴史まちづくりの庁内連携・推進

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

平成22年度からまちづくり行政と文化財保護行政の一元的な展開を推進するため、建設部都市計画課内に「歴史まちづくり室」を設置、平成24年度には、建設部内に「都市政策室」を新設し、まちづくり(歴史まちづくり・景観・中心市街地活性化)、都市計画、文化財各部門の連携によるまちづくり推進体制を強化した。また、「庁内推進本部」を設置し、円滑かつ効果的な事業推進を図ることとした。さらには、「白河市歴史的風致維持向上計画協議会」をはじめ、都市計画審議会、景観審議会、文化財保護審議会などの協力や福島県など関係部局との調整を行い、計画の実現を図るものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史まちづくり事業の実施にあたっては、都市計画課及び文化財課との協力・連携のもと事業を実施した。白河市歴史的風致維持向上計画協議会、白河市歴史と伝統を活かしたまちづくり庁内推進本部会議及び調整会議を開催し、計画の推進や事業の実施について協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

歴史まちづくり事業について、近年では観光の要素も大きくなっているため、観光関連団体からの委員選任について検討が必要となっている。

状況を示す写真や資料等

- 歴史と伝統を活かしたまちづくり庁内推進本部
  - ・調整会議(平成30年2月5日 書面開催)
  - ・庁内推進本部会議(平成30年2月14日開催)

- 協議事項
  - ① 平成29年度における計画及び事業の進捗について
  - ② 計画の変更(第7回)について
  - ③ 歴史的風致形成建造物の指定及び指定候補について
  - ④ 平成30年度事業について
  - ⑤ その他(歴史まちづくりの推進に資する事業について)



庁内推進本部会議(平成30年2月14日開催)

- 歴史的風致維持向上計画協議会  
平成30年3月2日開催

- 協議事項
  - ① 平成29年度における計画及び事業の進捗について
  - ② 計画の変更(第7回)について
  - ③ 歴史的風致形成建造物の指定及び指定候補について
  - ④ 平成30年度事業について
  - ⑤ その他(歴史まちづくりの推進に資する事業について)



協議会(平成30年3月2日開催)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
都市計画の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 南湖公園区域内の一部について、歴史的風致にふさわしい用途の建築物等の整備を可能とするため、歴史的風致維持向上地区計画の策定を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴まち法第31条に基づき、平成28年7月1日に「南湖湖畔店舗地区歴史的風致維持向上地区計画」を導入した。既存店舗の外観の修繕、模様替を行い、南湖の歴史的風致にふさわしい南湖休憩施設とする改修工事が進められている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地区計画導入について広く民間等へPRして、「歴史的風致維持向上地区計画」で定めた制限に適合した店舗等を積極的に誘導を図る。

状況を示す写真や資料等

○歴史的風致維持向上地区計画による取組状況

日本の公園の先駆けとされる南湖公園の北側湖畔には、湖と一体となって南湖の歴史的風致を形成している店舗等が立地しているが、空き家となっていくことが懸念される。そこで、今後も南湖の歴史的風致を維持向上させていくため、歴史的風致維持向上地区計画を導入し、飲食店等を積極的に誘致する区域を設定した。区域内においては、建築物の用途を緩和するとともに、南湖の歴史性と調和した統一感のある建築物とするため、形態意匠等の制限を強化している。

- ・用途緩和: 建物の1階部分に、白河地域の農産品等を提供する飲食店等の立地を誘導
- ・形態意匠等の制限強化: 屋根は平入りの形状、開口部については木製格子戸などに制限

○南湖湖畔店舗地区イメージ



○南湖休憩施設とする改修工事



改修前



改修後(H30.3.30日竣工)

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成29年度
	項目	現在の状況

景観計画の活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------	---

計画に記載している内容  
 景観計画では、小峰城跡・白河駅周辺地区と南湖公園周辺地区について、景観計画重点区域に指定し、建築物等の形態意匠や色彩・高さなどについて景観形成基準を設けており、将来的には都市計画法の景観地区の指定を目指す方針である。また、城下町地区については、景観計画推進区域に指定し、建築物等の高さ等の景観形成基準を設け、景観協定の導入等、住民との協働によるルールづくりを積極的に進めることを目指す地区としている。  
 今後は、歴史的風致維持向上計画の重点区域と景観計画との整合を図るため、景観計画推進区域を当該重点区域まで拡大する方針である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観条例及び景観計画に基づき、建築物や工作物等の新築、増改築等の行為に関して適正な規制及び誘導を行い、景観計画区域内の良好な景観形成に努めた。

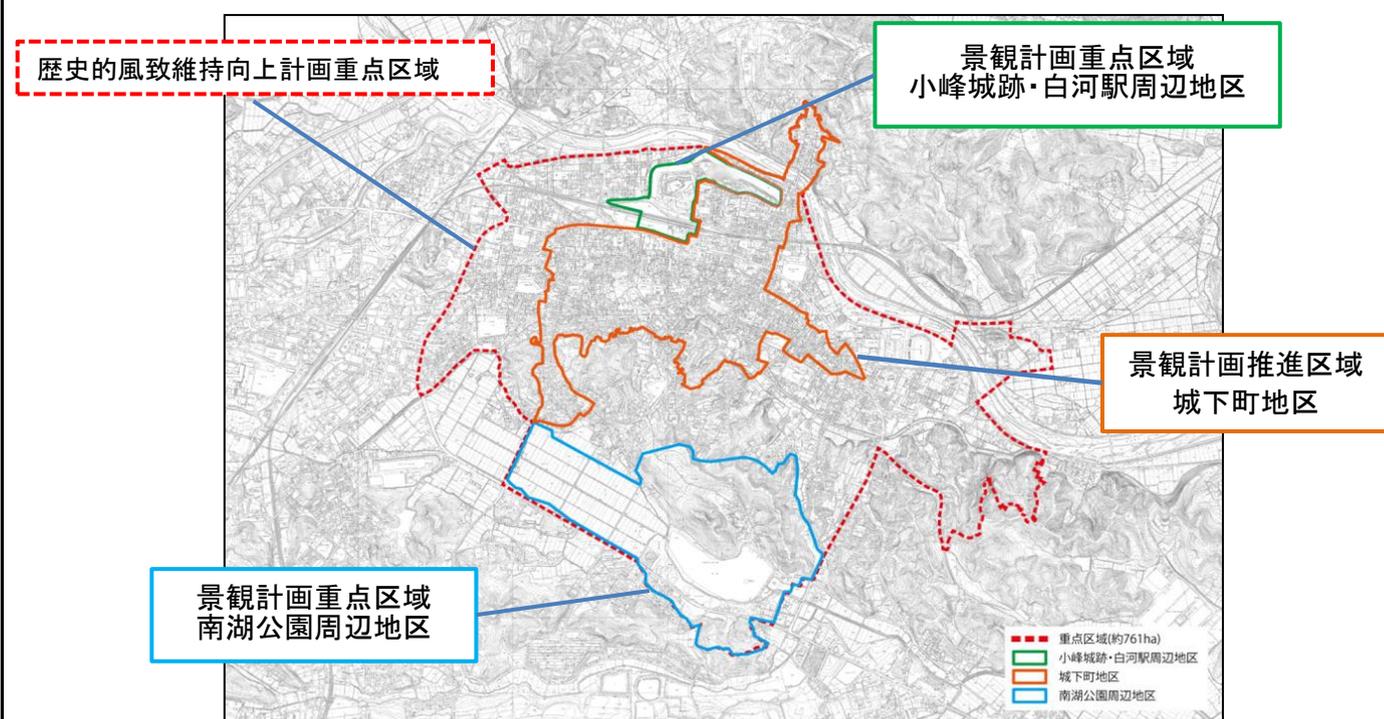
○平成29年度届出件数:26件(重点区域0件、推進区域3件、景観計画区域(重点・推進区域を除く)23件)

また、平成29年度は、市内田町地区において景観まちづくり協議会の設立に向けた協議、検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観まちづくり協議会の設立に向けた地元との協議を引き続き行い、協定締結を目指す。
--	--

状況を示す写真や資料等



景観計画重点・推進区域図

■平成29年度田町地区における協議・検討経過

市内田町地区において、国道294号白河バイパス整備事業に併せ、住民による景観まちづくり協定を締結することにより、景観まちづくり活動による良好な景観形成を図ることを目的として、景観まちづくり協議会設立に向けた協議・検討を行った。

○田町景観まちづくり説明会

- [内容] ・景観まちづくりについて
- ・国道294号白河バイパス整備事業について

- 第1回 平成29年 9月 2日(土) 対象:田町自治会役員
- 第2回 平成29年11月18日(土) 対象:田町自治会役員
- 第3回 平成30年 1月22日(月) 対象:田町自治会住民
- 第4回 平成30年 3月19日(月) 対象:田町自治会住民

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	

屋外広告物について	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------	---

計画に記載している内容  
 屋外広告物については、屋外広告物法及び福島県屋外広告物条例に基づき無秩序な表示や設置を防ぐ美観・風致の維持、良好な景観形成等のため規制を行ってきたが、より本市の実情に即した屋外広告物の規制・誘導を図るため、平成28年4月1日から「白河市屋外広告物等に関する条例」を施行した。条例では、景観計画との整合性を図るため、景観計画重点区域等(重点区域、推進区域(城下町地区)、南湖から那須連峰への眺望に影響のある新白河駅周辺地区)において、屋外広告物の面積、位置、色彩等に市独自の許可基準を設けており、適切な規制・誘導に努めている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

屋外広告物法及び白河市屋外広告物等に関する条例に基づき、屋外広告物の設置に関して適正な規制及び誘導を行い、美観・風致の維持及び良好な景観形成に努めた。  
 ○平成29年度許可件数:216件(新規26件、更新184件、変更6件)  
 平成29年度は、屋外広告物講習会(福島県主催)において、屋外広告物業者等に対し、本市において平成28年4月1日から施行した「白河市屋外広告物等に関する条例」について、市独自の許可基準の説明により周知を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市条例施行に伴い不適格となっている屋外広告物について、経過措置期間内(平成34年3月31日)に解消を図るため、市補助金の活用推進を図る。
--	--

状況を示す写真や資料等

■平成29年度屋外広告物講習会開催概要

開催日時 平成29年11月20日(月) 10:00~15:30  
 平成29年11月21日(火) 10:00~16:00

開催場所 福島テルサ 4階「つきのわ」福島市上町4-25

受講者 26名

講習会時間割

	時間・内容
1日目	10:00~10:30 受付
	10:30~10:45 開講式
	10:45~12:00 屋外広告物法、福島県屋外広告物条例・施行規則
	12:00~13:00 昼食
	13:00~15:30 郡山市条例、いわき市条例、白河市条例、福島県景観条例、建築基準法、道路法
2日目	10:00~10:15 受付
	10:15~12:00 屋外広告物の表示に関する事項
	12:00~13:00 昼食
	13:00~15:30 屋外広告物の施工及び管理に関する事項
	15:30~16:00 修了証書交付、閉講式

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業(小峰城跡災害復旧事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

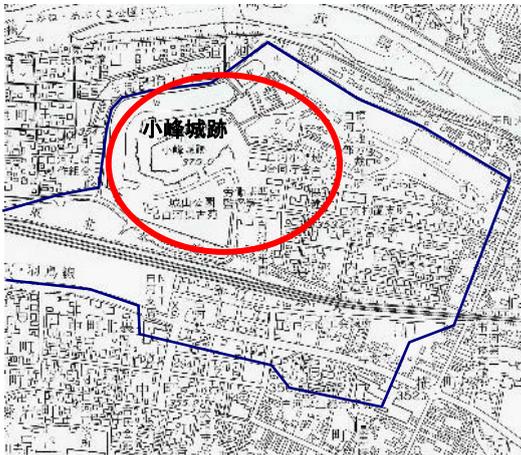
事業期間	平成23年度～
支援事業名	史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業補助金
計画に記載している内容	平成23年度・平成24年度は、東日本大震災により崩落した石垣の記録化や石材の撤去作業を行いながら、崩落原因の究明と修復方法の検討を行った。平成25年度以降は、検証結果をもとに計画的に崩落・変形箇所の修復を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

東日本大震災により崩落した石垣のうち、本丸南面、本丸西面、本丸北面、清水門跡、搦手門跡、帯曲輪門跡、帯曲輪西面、帯曲輪北面、藤門跡の石垣積替え工事、および三重櫓、前御門の修復工事が完了した。月見櫓跡、丘陵東部北面の石垣修復工事に着手した。修復工事では、市内の石工職人等も作業に参加し、石積み技術者の育成に努めている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	石垣の修復にあたっては、伝統工法による技術研究も課題となっており、専門家で構成する石垣検討委員会を平成29年度に6回開催し、指導・助言を得ながら、修復の検討を行っている。

状況を示す写真や資料等



事業対象地



本丸北面 石垣復旧状況



帯曲輪北面石垣復旧状況



月見櫓跡石垣復旧状況



藤門跡 上面発掘調査



第23回 石垣検討委員会(平成29年9月30日)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	

歴史的まちなみ修景事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------	---

事業期間 平成23年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 良好な町並み景観の保全を図るため、景観計画に基づき「景観形成ガイドライン」を策定し、これに基づく建造物の修景等に対する支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

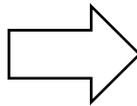
平成23年度に策定した「景観形成ガイドライン」に基づき、建造物の外観修景等に対する支援を実施した。  
 ○対象エリア:景観形成ガイドラインAゾーン(景観計画城下町地区重点推進区域)、金屋町谷津田川せせらぎ通り景観協定区域、白河城下景観まちづくり協定区域、白河門前通り景観まちづくり協定区域、横町景観まちづくり協定区域  
 ○補助件数:平成23年度～28年度 22件、平成29年度 1件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的まちなみ修景事業のさらなる制度周知により、市補助金の活用推進を図る。
--	---------------------------------------

状況を示す写真や資料等

建築物の修景(外壁の改修)



施工前

施工後

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存修景事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成23年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容	旧奥州街道や歴史的街路の沿道に所在する歴史的な建造物について、歴史的風致形成建造物に指定し、所有者等が行う建造物の修理等に要する費用の一部を助成し、歴史的建造物の保全と活用を図る。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
 歴史的風致形成建造物に指定した建造物の修理等に対する支援について、NPO法人しらかわ建築サポートセンター(歴史的風致維持向上支援法人)との連携により実施した。  
 ○歴史的風致形成建造物指定件数:41件96棟  
 ○補助件数:平成23年度～28年度 22件41棟、平成29年度 5件6棟

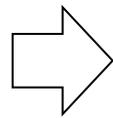
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	所有者が行う改修工事に対する補助のため、工事実施の時期及び工事費の把握が難しい。補助金交付先からは前年度中に必要書類を提出してもらうなど検討する。

状況を示す写真や資料等

屋根・外壁補修(藤屋建造物群 ③倉庫)



施工前

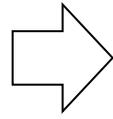


施工後

外壁補修(大谷忠吉本店(白陽酒造)建造物群 ⑤仕込み蔵)



施工前



施工後

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
無電柱化調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 旧奥州街道である現在の国道294号は、鹿嶋神社祭礼(白河提灯まつり)の運行ルート、白河だるま市の開催場所等になっているが、電線・電柱類が祭礼時の運営支障及び景観阻害の要因となっている。このため、道路管理者、事業者等と無電柱化に関する調整を図りながら、現況及び整備手法等について調査・検討を行なう。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

事業実施に向けて、これまでの経過や今後の課題について勉強会を開催し、道路管理者と情報の共有を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

事業対象区間の歩道幅員が狭く、通常埋設型の無電柱化事業が難しいため、当路線にあった工法について検討していく。

状況を示す写真や資料等



事業位置図



白河提灯まつり運行の支障となっている電線・電柱

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 明治天皇や新選組ゆかりの歴史的遺産である旧脇本陣柳屋旅館建造物群(歴史的風致形成建造物)について、老朽化の激しい蔵座敷の復元整備に向け、整備後の利活用等の検討を行う。検討結果をもとに、市が土地・建物を取得し、史実に基づき復元整備を行い、まちなか回遊の拠点として活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度:整備設計及び用地測量・不動産鑑定・物件調査を実施。

平成26年度:用地取得、建物取得(蔵座敷は寄付)を実施。

平成27～29年度:修復工事

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

施設の一般公開に当たり「白河市旧脇本陣柳屋旅館建造物群条例」を制定し、管理運営に努める。また、同敷地内にある勤工場の活用方針について検討する。

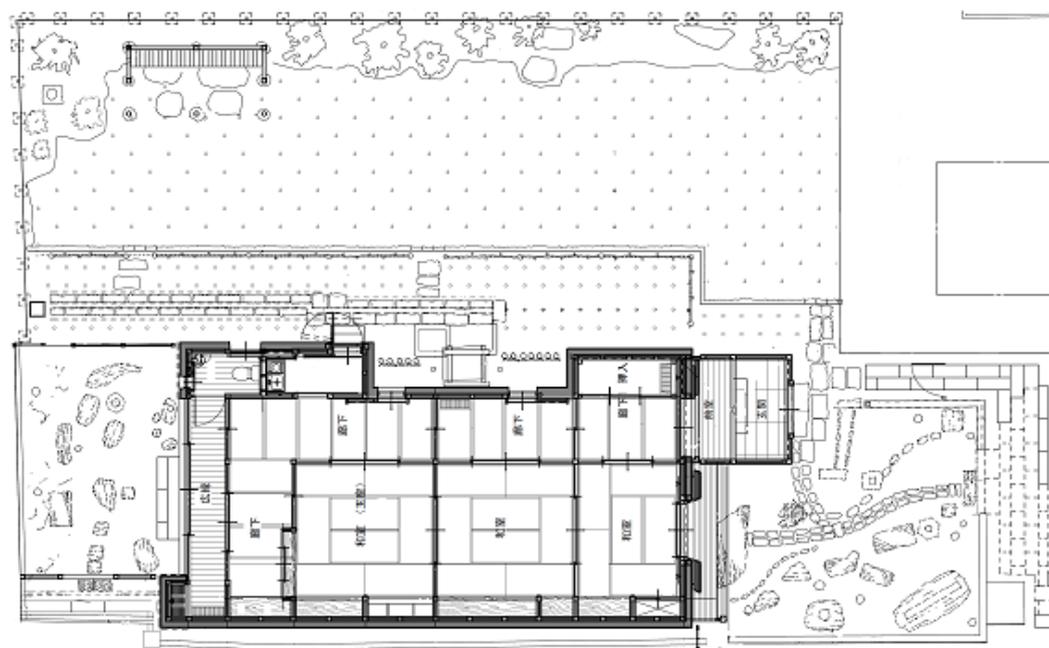
状況を示す写真や資料等



内部修復状況



建物修復完了



全体平面図

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
屋外広告物景観影響調査等事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業と一体の効果促進事業)(平成25年度、平成28年度) 市単独事業(平成26年度、平成29年度)
計画に記載している内容	屋外広告物の表示について、現況調査や影響調査、問題課題の整理、規制のあり方の調査研究、事業者との合意形成活動等を行う。また、本事業により得た成果を反映させた独自の屋外広告物条例を制定するとともに、「屋外広告物ガイドライン」を策定した。

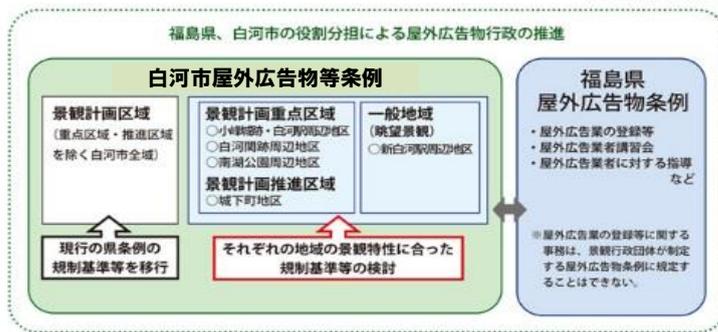
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度は、前年度に策定した「白河市屋外広告物ガイドライン」について、屋外広告物業者等に対し窓口や講習会等の場で広く周知を図り、魅力ある屋外広告物の検討・作成・設置を促した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

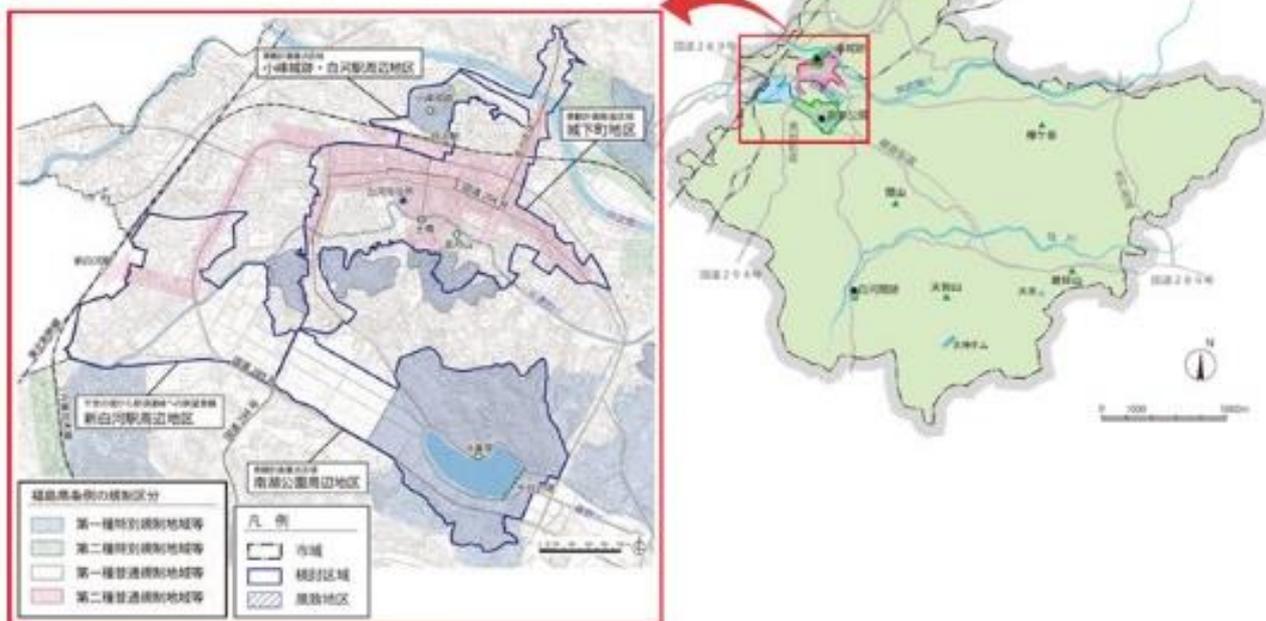
状況を示す写真や資料等

■白河市屋外広告物等に関する条例



平成29年3月策定

■対象区域



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
小南湖公園整備事業			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～平成29年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	白河藩大名家墓所(市史跡)が所在する小南湖の丘陵地について、丹羽長重廟に至る園路の整備や森林等の間伐、湖沼の浚渫等を行い、まちなか回遊の拠点となる史跡公園として整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度: 現地測量、植物・水生生物調査 平成26年度: 整備設計、用地測量、不動産鑑定、用地取得(一部)、湖沼整備(繰越:平成27年6月11日) 平成27年度: 用地取得(一部)、営林署官舎解体、湖沼整備(繰越:平成28年9月27日)、森林整備(繰越:平成28年12月15日) 平成28年度: 駐車場整備(繰越:平成29年5月26日) 平成29年度: 園路整備			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市民や観光客のまちなか回遊を促すよう整備後の有効活用を検討する。		

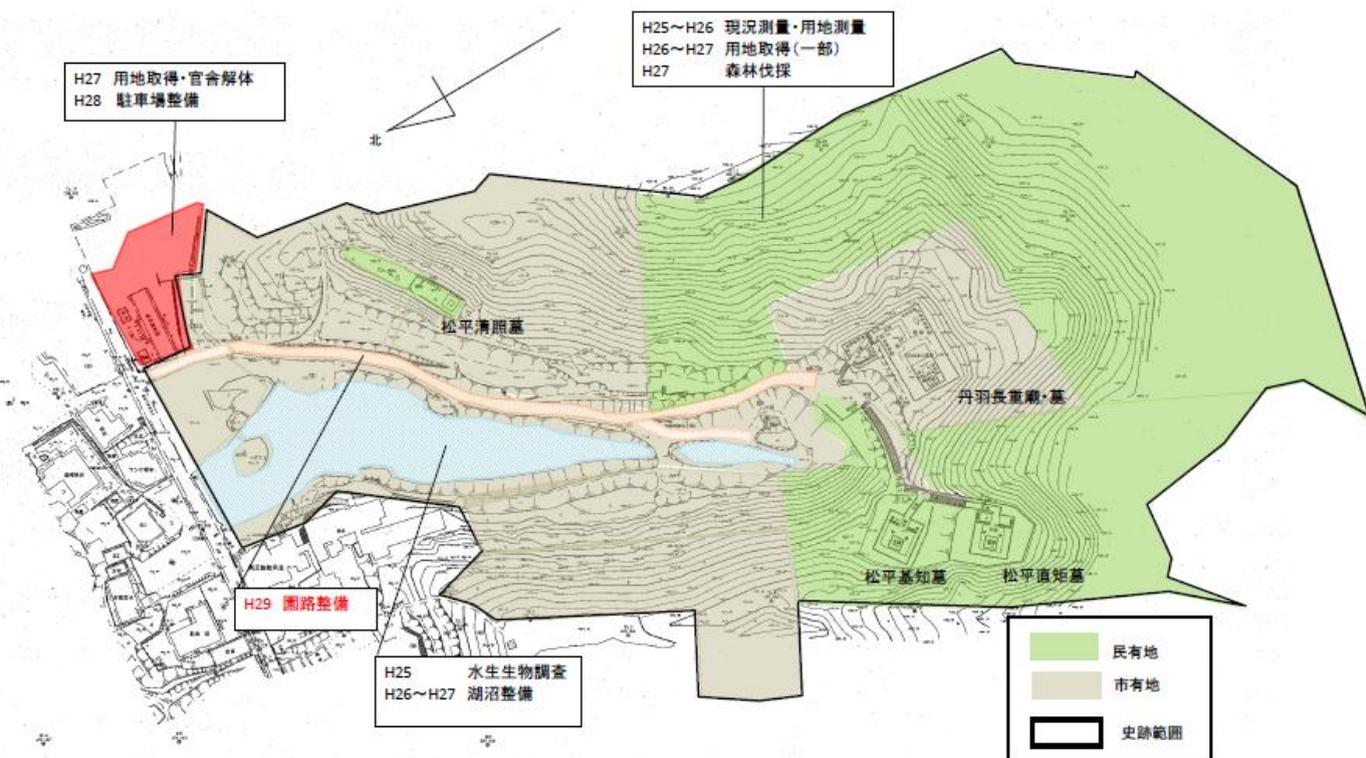
状況を示す写真や資料等



駐車場整備完了



園路整備完了



全体計画図

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	

都市計画道路乙姫桜プロムナード整備事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成25年度～平成28年度(繰越)

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街路事業)

計画に記載している内容 都市計画道路乙姫桜プロムナード2号・3号線は、歴史的な町並みを活かして進められている歩車共存道路であり、既に完了している歩行系街路や現在整備中の歩行系街路とともに歩行系ネットワークの形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

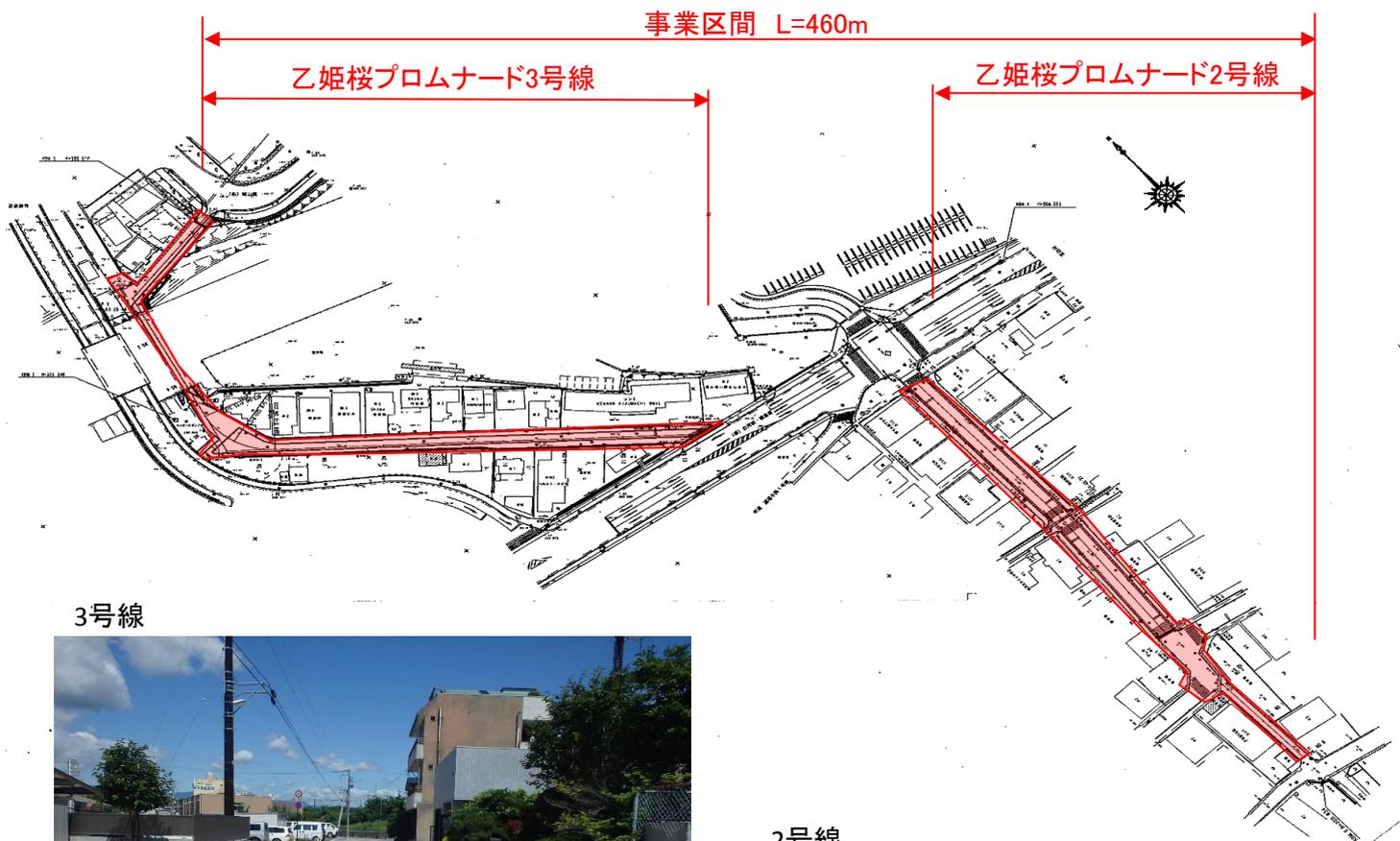
乙姫桜プロムナード3号線は、平成27年度の整備をもって完了した。また、乙姫桜プロムナード2号線については、道路改良舗装工事を行い、平成29年度に完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



3号線



2号線



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	

無形民俗文化財活動記録作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------	--	---

事業期間	平成23年度～
------	---------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	地域に根差した民俗・芸能活動は、住民の生活の一部を形作っていたものであることから、現状での活動内容について、詳細な調査を行い、活動記録の保存を行う。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

民俗・芸能活動について、活動内容の詳細な調査を行うとともに、写真・映像による活動内容の記録も行った。(16団体)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	夜間に行われる活動については、機器の精度の問題もあり、新たな記録化の方法を検討する必要がある。
--	---

状況を示す写真や資料等



関辺さんじもさ踊り(白河地域)



中ノ沢権現梵天祭(表郷地域)



下新城キューリ天王祭(大信地域)



琴平神社の奉納相撲(東地域)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	

しらかわ無形民俗文化財等支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------------	--	---

事業期間	平成21年度～
------	---------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	無形民俗文化財の保存団体等を対象に、民俗芸能等に用いる用具類の新規購入や修繕、行事の実施公開に対して財政支援を行うとともに、本事業を周知し、支援団体の拡充を図る。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

無形民俗芸能等活動は、後継者不足が加速し活動停止となる事例が増加しているため、申請に基づき調査を行い、道具等の補修・購入や活動の財政的支援を行った。(12団体)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	各団体の要望を把握した上で、より適切な支援となるよう努めたい。
--	---------------------------------

状況を示す写真や資料等



奥州白河念仏踊り(白河地域)  
大和田自治会: 行事实施支援



八幡宮下熊野講(表郷地域)  
八幡宮下熊野講青年会: 行事实施支援



十日市ちょうちん祭り(大信地域)  
十日市町内会: 行事实施支援



釜子の盆踊り(東地域)  
釜子青年統一会: 行事实施支援

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
伝統的技術伝承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	歴史的風致維持向上推進等調査(平成24年度、平成25年度)、市単独事業(平成26年度～平成28年度)、歴史的風致維持向上支援法人単独事業(平成29年度～)		
計画に記載している内容	歴史的な建造物の修理等に際し、伝統工法に係る材料調達や職人不足の課題が浮き彫りとなったことから、地域の材料、地域の職人、地域固有の工法で修理する持続可能な修理システムを構築するため、モデル修理工事の実施や専門家を招いた研究会の開催等により、修理工法の開発や職人等の人材育成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致維持向上支援法人であるNPO法人しらかわ建築サポートセンターが主体となり、修復を行っている小峰城石垣と、「旧小峰城太鼓櫓」を題材とした研修会を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		伝統工法で修復等を行っている現場を題材としているが、研修現場の確保が必要となる。	
状況を示す写真や資料等			
平成29年度 伝統的技術伝承事業研修会  ・開催日:平成29年11月25日(土) 13:00～16:00 ・場 所:小峰城石垣修復現場、旧小峰城太鼓櫓 ・講 師:白河市文化財課史跡整備係 松林 秀和 ・参加者:計26人 <内訳> (同時開催)ヘリテージマネージャー講習会参加者 13人 建築士 5人 大学生 7人 自治会 1人 ・内 容:小峰城石垣修復について市担当者からの説明と修復現場の見学、旧小峰城太鼓櫓についてNPO法人しらかわ建築サポートセンター担当者からの説明と見学(外部のみ) ・参加者の反応: 小峰城石垣修復現場では修復作業現場の近くで見学を行い、参加者は興味深そうに見学していた。 また、白河市外からの参加者もあり、旧小峰城太鼓櫓を知らない参加者は初めて見学した旧小峰城太鼓櫓について担当者からの説明を真剣に聞いていた。			
			
小峰城石垣の修復・現地研修 (平成29年11月25日)		旧小峰城太鼓櫓・現地研修 (平成29年11月25日)	

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況

白河歴史教科書作成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------	---

事業期間 平成24年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業と一体の効果促進事業)(平成24年度、平成26年度)市単独事業(平成25年度～)

計画に記載している内容 白河の歴史と伝統に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図るため、歴史の手引きの製作を行う。さらには、「(仮称)しらかわ検定」の開催を目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

白河歴史の手引き「れきしら」入門編及び上級編を有料販売することにより周知を図った。市内の小学校1年生から中学校3年生を対象に行われている「白河の歴史・文化再発見事業」においても「れきしら」を活用し、白河の歴史と伝統に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図った。また、「れきしら」を活用し、「しらかわ検定」を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	白河の歴史と伝統への興味を多くの人に持ってもらうため、白河歴史の手引き「れきしら」の活用や「しらかわ検定」の受験者数を増やす等、更なる取組みが必要となる。
--	---

状況を示す写真や資料等



【販売実績】

年度	入門編	上級編
H25	492	-
H26	200	-
H27	355	577
H28	275	208
H29	527	292
累計	1,849	1,077

左:入門編(平成24年度作成) / 右:上級編(平成27年度作成)



試験日時:平成30年2月17日(土)  
 <3級> 午前10時～10時50分  
 <2級> 午後2時～2時50分  
 受験資格:<3級> なし(住所・年齢等不問)  
 <2級> 3級合格者  
 受験人数:<3級> 124人  
 <2級> 101人  
 出題形式:四者択一方式  
 出題範囲:<3級> 白河歴史の手引き「れきしら」入門編から50問  
 <2級> 白河歴史の手引き「れきしら」上級編から50問

○参加者の反応

<受験した理由>

- ・自分の住む地域について勉強したかった
- ・しらかわの観光を知り、今後ボランティアとして活動したい

<今後の受験について>

- ・白河の歴史についてもう少し知りたいと思うので、また受験したい。
- ・より深く学びたい。

しらかわ検定の様子  
 (平成30年2月17日  
 鹿島ガーデンヴィラ)



評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況
ぐるり白河文化遺産めぐり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成21年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 地域の歴史的・文化的資源の価値を再認識する機会を創出するため、城下町ゾーンの寺社を中心に、あわせて歴史的・文化的資源をチェックポイントとするスタンプラリーを開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

街なかにある寺社などの歴史的・文化的遺産をめぐるスタンプラリーを年2回開催し、市内の小中学生への参加を促した。また、スタンプラリー期間中、ぐるり白河文化遺産ツアーを開催し、歴史的風致形成建造物を積極的に見学コースに取り入れ、所有者の了解のもと、その公開に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	参加者の固定化が見られるため、新規の参加者が増えるような内容が必要となる。
--	---------------------------------------

状況を示す写真や資料等

【春のぐるり白河文化遺産ツアー】

- テーマ:歴史的建造物と仏教美術めぐり
- 開催日:平成29年4月8日(土)
- 参加者:38名



常宣寺にて住職から説明を受ける参加者

【スタンプラリー】

- 春:平成29年4月8日(土)～30日(日)  
景品交換者 184名
- 秋:平成29年10月14日(土)～29日(日)  
景品交換者 27名

【秋のぐるり白河文化遺産ツアー】

- テーマ:鹿嶋神社と白河の関所
- 開催日:平成29年10月14日(土)
- 参加者:33名



鹿嶋神社の宮司から説明を受ける参加者

- 参加者の反応
- ・普段は見られないような場所を見学出来て良かった。
  - ・ツアーガイドから自分では知ることの難しいようなことも聞いて勉強になった。
  - ・またツアーに参加したい。
  - ・今後、白河の文化遺産や寺院を巡ってみたい。

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
白河の歴史・文化再発見事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	白河の歴史や文化について知識や見聞を広め、興味を喚起するとともに、自分の生まれ育った白河を愛する心を育てるため、市内の小学2年生から中学2年生を対象に、「白河歴史教科書」を活用しながら、白河の歴史や伝統文化について体験的な学習を系統的に行う。平成27年度からは、小学1年生から中学3年生まで対象を拡大して実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
白河の歴史や伝統文化等について各学年ごとにテーマを設け、白河茶道連盟、白河語りの会、白河観光物産協会、白河市文化財課学芸員等の協力を得ながら学習を行った。また、学習成果をまとめ、市立図書館に展示したり、伝統芸能を発表したりするなど発信する活動に力を入れた。なお、各学年とも「白河歴史教科書『れきしら』」の活用を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	学習内容の充実に伴い、年々協力団体・機関の負担が大きくなり、日程の調整が難しくなっている。また、取組の形骸化を防ぐためにも、各校の独自性を発揮したり、実施内容の精選・重点化等を図ったりしていくことが必要である。		
状況を示す写真や資料等			



小学5年生 翠楽苑での茶道体験



教員研修「境の明神」  
教員対象の研修を実施し、児童生徒の指導に生かす



小学3年生の古民家「鈴木家住居」見学



中学生による「安珍歌念仏踊り」の発表

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の修理(整備を含む)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財の状況を常に把握した上で、法令に基づき適切な保存を図るとともに、計画的な修理・整備を行う。また、専門的な指導・助言を得ながら、文化財が持つ歴史的価値の保持に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①国指定史跡「小峰城跡」の石垣積替え工事を実施した。(5頁参照)
- ②市指定史跡「天神山(附)天神神社」について、暴風により天神神社等の屋根が破損したため、修繕を支援した。
- ③市指定天然記念物「満徳寺のしだれ桜」について、樹勢回復事業を支援した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	指定文化財所有者の要望をいち早く把握しながら、文化財を後世に伝えられるよう支援に努めたい。

状況を示す写真や資料等

②市指定史跡「天神山(附)天神神社」天神神社等屋根修復事業

修復後

修復前(被害状況)



③市指定天然記念物「満徳寺のしだれ桜」樹勢回復事業



【実施内容】

- ・殺虫剤散布および土壌施肥作業
- ・枝の下部のアスファルト撤去、柵設置

土壌への施肥

アスファルト撤去  
立入防止柵設置

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財の保存・活用を行うための施設として、歴史民俗資料館、集古苑を設置しており、収蔵史資料の調査分析、保存及び公開を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史民俗資料館では、白河の歴史と文化を通史的に学べる展示を行っている。集古苑では、白河ゆかりの江戸時代の画家を紹介する特別企画展「文晁門人 蒲生羅漢 -白河のまちを飾った絵師-」を開催した。他に、企画展・テーマ展を開催し、年間で計7回の展覧会を開催した。また、企画展にあわせ、展示解説会や講演会などを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	施設の老朽化が進行しており、改修や新築について検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等

■歴史民俗資料館

展示内容	会期
平常展示 白河の歴史と文化	通年

■白河集古苑

展示内容		会期
結城家古文書館	阿部家名品館	
重要文化財白河結城家文書と中世の美術	企画展 桜・さくら (※28年度から継続)	3/24(金)～5/7(日)
	伝来の遺宝と絵画・工芸	5/12(金)～7/2(日)
	伝来の遺宝とゆかりの刀剣	7/7(金)～9/3(日)
特別企画展「文晁門人 蒲生羅漢 -白河のまちを飾った絵師-」		9/16(土)～11/5(日)
企画展 美術でつくる動植物園		11/17(金)～H30.1/14(日)
重要文化財白河結城家文書と中世の美術	伝来の遺宝と武家の装い ○特集展示 江戸時代の小峰城	1/18(木)～3/11(日)
	企画展 桜・さくら	3/16(金)～5/6(日)

■来館者数(平成29年12月末現在)

- 歴史民俗資料館 1,526人
- 白河集古苑 8,813人



歴史民俗資料館展示「白河の歴史と文化」



学芸員による展示解説会  
(特別企画展「文晁門人 蒲生羅漢」)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	

文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------	--	---

計画に記載している内容  
 文化財防火デーに併せた火災防御訓練の実施や訓練への住民参加に積極的に取り組み、所有者のみならず周辺住民の文化財防災に関する意識向上を図る。また、盗難に対する施設内の設備の現状確認を実施し、盗難予防に対する意識付けを強化していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財防火デーに併せ、県指定重要無形民俗文化財「奥州歌白河念仏踊」を行う安珍堂(根田)において、査察を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	所有者や地域住民と連携して、さらなる防災体制の強化に努める。

状況を示す写真や資料等

○第64回文化財防火デー防火査察

- ・日 時 平成30年2月4日(日)  
午前9時～
- ・場 所 安珍堂(白河市萱根根田地区)
- ・訓練内容 防火査察  
(消火栓設備の確認、非常時の水利の説明、消火器取扱訓練)
- ・参加者 白河市消防団第6分団 21名  
白河消防署 5名  
萱根町内会 20名  
白河市職員 5名  
計 51名



防火査察の様子

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	

文化財の保存及び活用の普及・啓発

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

文化財を広く市民へ公開し、文化財保護精神の普及・啓発を図るため、ホームページを通じて指定文化財を分かりやすく紹介するほか、文化財の誘導・説明板の設置を進める。また、出前講座や各団体の学習会等に積極的に講師派遣を行うなど、文化財に対する知識・理解の高揚に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

小峰城跡では、石垣修復現場の一般公開を月1回、7月から12月まで行った。市内の小・中学校で実施している「白河の歴史 再発見! 事業」において、小峰城跡災害復旧現場の見学および白河集古苑の展示解説を行うとともに、出前講座に文化財課職員を講師として派遣し、文化財の普及・啓発に努めた。また、昨年度に引き続き、「歴史民俗資料館 美術・古文書講座」を開催し、文化財・歴史資料一般や、白河の歴史・文化について学ぶ機会を設けた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

石垣修復現場の公開については、今後も修復の進捗に応じて機会を設けていく必要がある。

状況を示す写真や資料等



小峰城跡石垣修復イベント  
—石垣に願いを込めて—  
(平成29年7月30日)

- 小峰城石垣修復現場一般公開
  - ・石垣修復現場である竹之丸南面と本丸北面の一般公開を7回行った。また、第3回時には、『石垣修復イベント-石垣に願いを込めて-』を開催した。
  - 第1回(6月4日)見学者数378人      第2回(7月2日)見学者数 268人
  - 第3回(7月30日)見学者数256人      第4回(9月3日)見学者数367人
  - 第5回(10月1日)見学者数468人      第6回(11月5日)見学者数606人
  - 第7回(12月3日)見学者数268人      合計2,611人
- 白河の歴史・文化再発見事業
  - ・小峰城跡・集古苑見学者数  
市内の15の小中学校6年生を対象に公開を行った。  
参加児童数 573人
  - ・出前講座  
市内の中学校の授業へ職員を派遣し、授業を行った。  
開催内容 白河の歴史・白河の古代・小峰城の歴史・  
南湖公園の歴史・松平定信の業績  
開催回数 のべ16回  
参加生徒数 1,229人
- 歴史民俗資料館「美術・古文書講座」
  - ・平成30年1月～2月の期間中に計10回開講
  - ・受講者数 60人



白河の歴史・文化再発見事業  
「小峰城跡本丸南面石垣復旧完了状況見学」  
(平成29年6月27日 白河第三小学校 6年生)



歴史民俗資料館「美術・古文書講座」  
(平成30年1月11日 美術講座)



評価軸⑤-2  
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
歴史的建造物で白河の魅力発見	平成29年10月18日	福島民友
白河で5日まで「蒲生羅漢」展	平成29年10月25日	福島民友
白河の歴史見つめ直す	平成29年12月5日	福島民友

評価対象年度 平成29年度

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

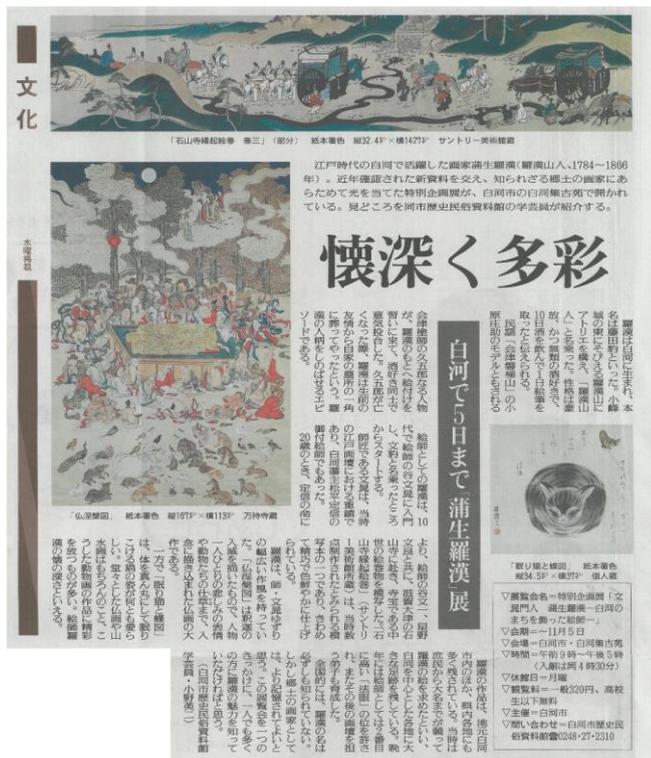
白河の歴史・文化をテーマとした展示に関する記事が掲載され、白河市の歴史について市民及び県内に周知できた。市内の文化遺産をめぐるツアーの開催や平成29年度初の「れきしら」解説講座の実施により、市の歴史や伝統、文化に対する市民の関心がいっそう高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



白河で5日まで「蒲生羅漢」展  
(平成29年10月25日 福島民友)



「れきしら」解説講座の開催  
(平成29年12月5日 福島民友)

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
白河の文化財活用注目	平成29年12月20日	福島民友
小峰城跡復旧に理解	平成30年1月20日	福島民報

評価対象年度 平成29年度

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画の核となっている史跡「小峰城跡」について、石垣修復の進捗状況や本市において開催された全国城跡等石垣整備調査研究会の記事が掲載される等、小峰城跡の復興に対する関心の高まりが感じられる。無形民俗文化財に関する事項や文化財の展示に関する事項が掲載され、白河の文化財の保存について市民に周知できた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



左:文化財活用の注目  
(平成29年12月20日 福島民友)  
右:小峰城跡復旧に理解  
(平成30年1月20日 福島民報)

評価軸⑥-1  
その他(効果等)

評価対象年度 平成29年度

項目

第15回全国城跡等石垣整備調査研究会 白河大会の開催

計画に記載している内容 なし

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

自然災害により崩落または変形した石垣の復旧に関する議論に軸足を据え、「震災からの学び—東日本大震災における文化財石垣復旧の中間報告—」と題して研究会を開催した。全国から250人を越える技能者、施工業者、行政担当者が来場し、基調講演、各城郭の報告、パネルディスカッション、小峰城跡の視察を行い、震災から修復までの状況を多くの人に伝え、文化財石垣の災害復旧について来場者の関心を高めることができ、有意義なものとなった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

【開催概要】

開催日時:平成30年1月18日(木)~20日(土)

場所:白河文化交流館コミネス・小峰城跡

参加人数:254人

主催:文化庁、白河市、白河市教育委員会

【参加者からの意見】

- ・「平時の行いが、震災時の適切な対応につながる。」ということは、東日本大震災の後に強く感じた事であったが、震災から7年が経ち、自分の中でその思いがいつの間にか薄くなっていたことに気付かされた。今回の大会に参加して、大事なことを思い出すことができた。
- ・白河小峰城をケースワークとしての震災からの学び、各報告、ディスカッションとも充実した内容で、大変刺激を受けた。
- ・災害復旧というテーマが非常に良いと思います。これからも常に考える必要があると感じる。
- ・現場の音が、一番大事であることを再確認した。特に、小峰城跡の一般公開への取り組み、考え方に強く感銘を受けた。
- ・東日本大震災・熊本地震から、自分達もいつ被災するかわからないと感じた。日頃の準備が大事であることを痛感し、できる事から進めなければならないと思った。



パネルディスカッションの様子



小峰城跡石垣見学の様子

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	平成29年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 白河市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 平成30年3月2日	
(コメントの概要)	
<p>○無電柱化調査事業(8ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無電柱化の際に、地上機が街なみ景観の邪魔になることがある。実施する場合、景観に配慮して計画作成をして欲しい。施工方法として半地下方式などもある。</li> <li>・隠すことにとられず、ペイントなどで見せ方を検討してはどうか。</li> </ul> <p>○無形民俗文化財活動記録作成事業(13ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校などでの活用も考えられる。データの提供など情報を共有したい。</li> <li>・映像や動画は公開に向いているので集めた情報のアーカイブ化を検討して欲しい。</li> </ul> <p>○ぐるり白河文化遺産めぐり事業(17ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史に対する意識が高まって、ツーリズムガイドへ導くような流れができればと思う。</li> <li>・市の広報紙でツーリズムガイドの特集を組むなどしてはどうか。</li> </ul> <p>○文化財の修理(19ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人所有の物件だとしても市でも定期的に監視していく必要がある。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度はソフト事業が充実した。景観の保全だけでなく、各種見学会や講習などで利活用を図っており、市民にその重要性を示している。</li> </ul>	
(今後の対応方針)	
<p>○無電柱化調査事業(8ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業化の際は地上機の位置や色、置き方などを検討する。</li> <li>・歩道幅員が狭いので、地域と調整して民地に地上機を置く方法があるが、地元との協議の進め方が重要になってくる。</li> </ul> <p>○無形民俗文化財活動記録作成事業(13ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般公開できるよう映像の編集などを行っていく。</li> </ul> <p>○ぐるり白河文化遺産めぐり事業(17ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートでツーリズムガイドに関する設問を記載し、ガイドへの関心などを探っていきたい。</li> </ul>	